

保健体育科学習指導案

平成29年10月17日(火) 第5校時
(: グランド)
第2学年BD組 計女子29名

1 単元名 球技 「ソフトボール」

2 単元について

(1) 一般的特性

ソフトボールは、2つのチームが攻撃・守備を規則的に交代し行い、一定の回数内もしくは時間内で相手チームより多くの得点を競い合うベースボール型のスポーツである。打つ、投げる、捕る、走るなどの個人技能が向上するにつれて、守備や攻撃での戦術が立てられより高度なゲームを楽しむことができる。戦術にはチームの個性がよく表れ、アイデアや創造性も高められる。ワンプレイごとに状況が変化し、チームで声をかけ合い協力して作戦を成功させることで、ソフトボールの楽しさや喜びを味わうことができる。守備での打球への反応や走塁時の状況判断も要求されるため、敏捷性、巧緻性、瞬発力を身につけることができる。

(2) 生徒からみた特性

ソフトボールは、普段使用しないバットでボールを打ち、速いゴロやフライなどの打球をグラブを使って捕るといふ、難しい技能が要求されるスポーツである。速いボールへの恐怖心を克服してボールを捕りアウトにしたり、ヒットを打つことができたりした時に大きな喜びを感じる。集団的にみると仲間の失敗をカバーし合い、連携プレーができた時に喜びを感じることができる。しかし、チームに技能の大きな差がある場合、一方的な試合になったり、打席数が少なくなってしまうたりして楽しさが半減してしまう不安もある。

(3) 生徒の実態

2年BD組は、B組14名、D組15名の計29名で保健体育の授業を行っている。話をよく聞き、授業に意欲的に参加し活動できる生徒が多い。事前アンケートでは、「体育の授業が楽しいですか」の質問に「楽しい」、「やや楽しい」と答えた生徒がアンケートに答えた28人中28人と全員が体育の授業に意欲的に参加していることがわかる。しかしながら、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では「ややきらい」、「きらい」と答えた生徒が28人中6人いた。体育の授業中、みんなで協力することは好きだが、運動をすることに否定的な生徒がいることがわかる。また、言われたこと以外に自主的に考え行動に移すことが苦手な生徒が多いことが授業中の様子から感じられる。そのため、自ら考え行動ができるようにしていきたい。

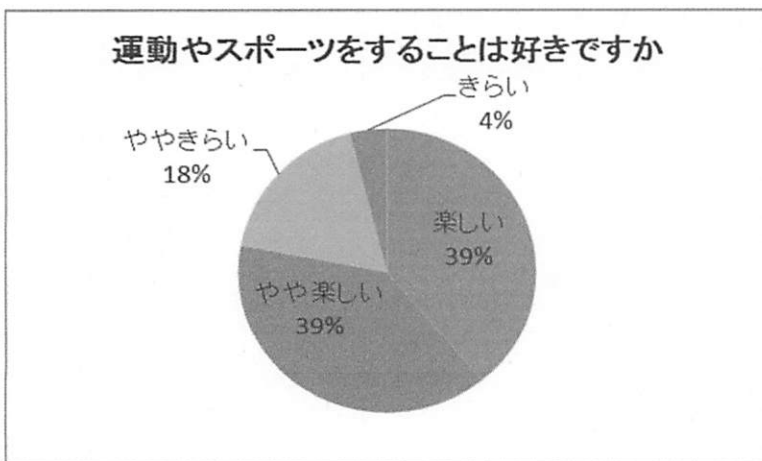


図1 運動・スポーツに関するアンケート (N=28)

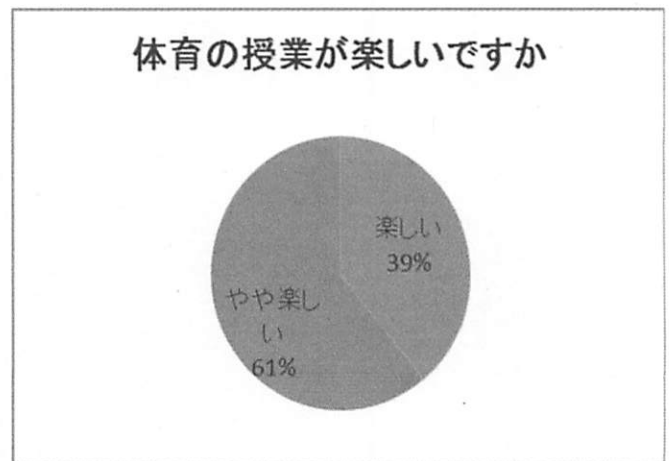


図2 体育の授業に関するアンケート (N=28)

ベースボール型の球技の授業は、一年次では行っておらず、今回が初めてとなる。小学校では、全員がキックベースを数回授業で行ったことがある程度である。そのため、ベースボール型の球技の経験があるが、ソフトボールを行ったことがある生徒が29人中2人なため技能、ルールへの不安を抱いている生徒がいることがわかる。

(4) 教師の指導観

本学級の生徒は、経験の有無や技能の習熟に関係なく、どの單元にも与えられた課題に対して、まじめに取り組む生徒が多い。しかし、自分の課題に合った練習内容を考えたりする力は定着していない。初めてソフトボールを行う生徒が多く、バット・グラブを初めて触る生徒も多い、そのため基礎・基本となるボール操作や、ルールをしっかりと習得させたい。基本技能を、ゲームの中で生かすことで楽しさを味わわせると共に、課題をもち、練習方法を創意工夫することで主体的に運動できる態度を身につけさせたい。

学習形態は、グループ活動を主とする。仲間と協力することに体育の授業の楽しさを感じる生徒が多いため、一人一人がチームの一員として自覚をもち、役割をしっかりと果たすことで責任感を養いたい。また、運動を通してルールやマナー、勝敗に対する公正な態度など、社会生活における望ましい人間形成を育んでいきたい。グループ活動を通して、「考える力」や「コミュニケーション力」を高めるために、生徒主体の活動場面を増やし、自ら考え、自ら動くことのできる生徒・集団にしていきたい。

3 単元目標

- ・ソフトボールの特性に興味をもち、仲間と協力して進んで学習しようとする。
- ・ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を見つけるための運動の行い方のポイントを見つけようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・仲間と協力をして課題に工夫する。 (思考・判断)
- ・基本的なバット・ボール操作ができる。 (技能)
- ・ソフトボール専門用語、技術、ルールや審判法を理解する。 (知識・理解)

4 評価規準

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
単元 の 評価 基準	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、互いに協力して練習やゲームをしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	球技の特性に応じた技能を身につけ、攻防を展開してゲームができる。	球技の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。
具体的 な 評価 規準	① 積極的に課題に取り組もうとしている。 ② 互いに尊重し合い協力して取り組もうとしている。 ③ 健康・安全に留意し活動しようとしている。	① 技術を身に付けるために、自分やチームの課題を見出している。 ② 個人やチームの課題に応じた練習方法を工夫している。	① タイミングを合わせてバットを振ることができる。 ② グローブを使ってキャッチングができる。 ③ 相手に向かってスローイングができる。	① 技術の名称や説明について、具体例を挙げている。 ② ルールや審判法、試合の進め方が理解している。

5 指導と評価計画 (全10時間)

時	ねらい、学習内容	評価の観点				評価項目
		関	思	技	知	
1	オリエンテーリング ○ソフトボールの特性について知る ○学習のねらいや進め方を知り、学習の見通しをもつ	①				観察
2	ねらい① 仲間とともに練習し、基本的な技能を身につける。 ○基本的技術の習得 ・キャッチボール ・ゴロ、フライ捕球 ・バットの握り方、振り方 ・ゲームを通して、ルールを覚える	②				観察 学習カード
3		③				
4			①		①	
5	ねらい② 自己やチームの課題解決に向けた練習を行い、高まった技能を使ってゲームを楽しむ。 ○チームの課題練習 ・ゲームを通して出た課題を解決していく ・守備・攻撃の練習方法を選び、チームで練習を行う ○ゲーム		①			観察 学習カード
⑥		②		① ②		
7		②		① ②		
8			②	③		
9	学習のまとめ ○学習の成果を確かめる ・試合 ・技能テスト ・学習カード記入			② ③		観察 学習カード 技能テスト
10					②	

6 本時の指導 (6時間目/全10時間)

(1) 目標

○積極的に意見を出そうとしている。

(関心・意欲・態度)

○グローブを使い、キャッチングができる。

(技能)

○タイミングを合わせてバットを振ることができる。

(技能)

(2) 展開

時間	学習内容と活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評価方法
はじめ 8分	<p>1. 集合、挨拶、準備運動・健康観察</p> <p>2. 5分間走</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに心拍数、走行距離を記入する。 <p>3. 本時のねらいの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識し集合させ、大きな声で挨拶をさせる。 ・生徒の健康状態を観察し、欠席者、見学者を掌握する。 ・グループごとに準備運動を行う。 ・1分間120回以上の脈拍数を目標にペースを考え走る。 	
<p>本時の学習のねらい 仲間と協力し、チームの課題に合った練習を考え、技能を高め合おう。</p>			
なか 32分	<p>4. チーム練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守備・攻撃に分かれて練習 ・キャッチボール、ゴロ・フライ練習 <p>守備練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノック ・ボール回し ・ランナー付き練習 <p>攻撃練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットバッティング ・ロープバッティング ・フリーバッティング ・ティーバッティング 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所をチームごとに確認し、ボールを投げる方向、打つ方向を徹底する。 ・バットを行う際は、周囲をよく確認して練習を行うよう留意させる。 ・巡回し安全確認を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>守備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローブを使ったキャッチングを行う。 <p>攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げられたボールに合わせてバッティングを行う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・審判、捕手はマスクをつけさせる。 ・試合を始める前に整列をして礼をさせる。 ・積極的なプレーをするように声掛けを行う。 	<p>評価：技① 観察</p> <p>評価：技② 観察</p>

<p>なか 3 2 分</p>	<p>5. 簡易ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2塁をなくし、1、3塁のみのコートで行う。 ・ ツーアウト交代とする。 ・ ピッチャーはホームベースから10m地点から投げる。 ・ ストライクゾーンは、構えた姿勢の肩から膝の高さ、ホームベースの幅の間とする。 ・ フォアボール、バント、盗塁はなしとする。 ・ ワンストライクから始まる。 ・ 打者は打った後、コーンにバットを入れなかった場合はアウトになる。 ・ 審判は攻撃側が行う。 ・ 打者が一巡した場合、交代する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>守備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴロ、フライ、投げられたボールなどグローブを使いキャッチングできているか。 <p>攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイミングに合わせて、ピッチャーから投げられたボールを打っているか。 </div>	<p>評価：技① 観察 評価：技② 観察</p>
<p>まとめ 1 0 分</p>	<p>6. 片づけ、整理運動</p> <p>7. 学習カード記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カード、チームの反省の用紙に反省を記入する。 <p>8. 整列、次時の確認、挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片づけを行ってから、整理運動を行わせる。 ・ 何人かの生徒に発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の授業の内容を確認する。 	<p>評価：関② 学習カード</p>